

図工室から VOL 6

令和5年9月14日
馬橋小学校

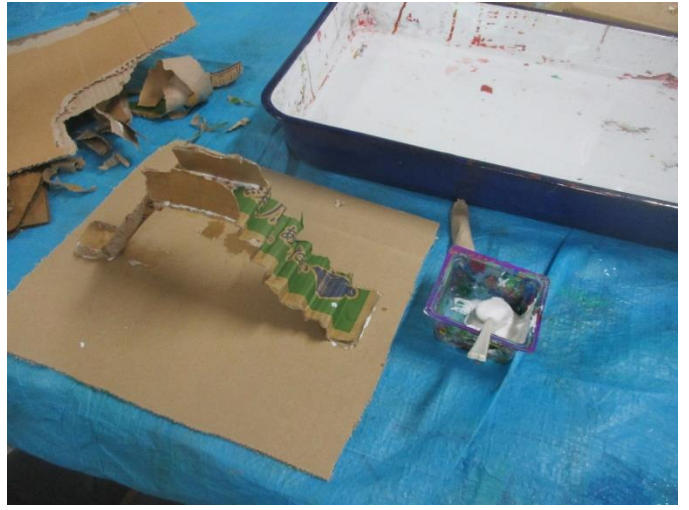


第6回の「図工室から」は、4年生の「いろいろ試してダンボール名人」を紹介します。

段ボールは図工の学習で頻繁に使う材料で、手に入りやすく適度な強度もあり、加工も容易です。今回の題材では、子どもたちにとっても身近である段ボールを、素手だけで加工して自分のお気に入りの形を見つけるという活動を行います。子どもたちは、はさみを使えないことに戸惑いながらも素手で加工しやすいようにダンボールを水で浸したり、ボンドを溶かした水をしみこませて固めたりするなど、よくある段ボール工作のイメージを取り払って、体全体を使って様々なアプローチを試していました。

先入観や固定概念にとらわれずに感覚を通して体験したことを基に、自分にとっての新しい価値を見つけることは、情報過多な現代社会の中で自分らしく生きていくために大切です。

図工の楽しい造形活動を通して子どもたちの未来に生きる力を育てていきたいと考えています。



馬橋小学校 図工専科 直本 鉄平